

# 緊急報告対象項目とその基準

● 下記の検査項目において緊急報告値が検出された場合は、測定後速やかにFAXまたは個別電話でご報告します。

	検査項目名	緊急報告基準値	区分	基準値
血液学	白血球数(WBC)	1,500以下, 20,000以上(/ $\mu$ L)	パ	3,300~9,000
	ヘモグロビン(Hb)* <sup>1</sup>	5.0以下, 20.0以上(g/dL)	パ	M) 13.5~17.5 F) 11.5~15.0
	血小板数(PLT)* <sup>1</sup>	3万以下, 100万以上(/ $\mu$ L)	パ	14万~34万
	白血球像* <sup>2</sup>	プラスト出現 EBL(赤芽球) 多数出現(30/200以上) 異形細胞多数出現	パ	Neut 40.0~75.0 Stab 1.0~7.0 Seg 34.0~70.0 Lymph 18.0~49.0 Mono 2.0~10.0 Eosi 0.0~8.0 Baso 0.0~2.0
	プロトロンビン時間	30以上(秒)	極	9.4~12.5
	プロトロンビン時間-INR(PT-INR)	2.00以上	パ	0.85~1.15
	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	60秒以上	極	25.0~36.0
生化学	血中アンモニア(NH <sub>3</sub> )* <sup>3</sup>	400以上( $\mu$ g/dL)	極	30~86
	グルコース(空腹時)* <sup>4</sup>	50以下, 500以上(mg/dL)	パ	70~109
	AST(GOT)	500以上(U/L)	極	10~40
	ALT(GPT)	500以上(U/L)	極	5~45
	LD(LDH)(乳酸脱水素酵素)	1,000以上(U/L)	パ	124~222
	血清アミラーゼ(S-AMY)	1,000以上(U/L)	極	40~122
	総ビリルビン(T-BIL)* <sup>5</sup>	12.0以上(mg/dL)	極	0.2~1.2
	ナトリウム(Na)	120以下, 160以上(mEq/L)	パ	137~147
	カリウム(K)	2.5 以下, 7.0以上(mEq/L)	パ	3.5~5.0
	カルシウム(Ca)	6.0以下, 12.0以上(mg/dL)	パ	8.4~10.4
	尿素窒素(UN)* <sup>1</sup>	80.0以上(mg/dL)	極	8.0~20.0
	総蛋白(TP)	3.5以下, 10.0以上(g/dL)	極	6.7~8.3
	尿酸(UA)* <sup>1</sup>	2.0以下, 12.0以上(mg/dL)	極	M) 3.8~7.0 F) 2.5~7.0
	クレアチニン(CRE)* <sup>1</sup>	8.00以上(mg/dL)	パ	M) 0.61~1.04 F) 0.47~0.79
	CK(CPK)	1,000以上(U/L)	極	M) 60~270 F) 40~150
ALP(アルカリフォスファターゼ)	500以上(U/L)	極	38~113	
浸透圧(血清)	255以下, 330以上(mOsm/kg $\cdot$ H <sub>2</sub> O)	極	275~290	
血清	CRP《定量》	30.00以上(mg/dL)	極	0.30以下
	ABO式血液型	表裏試験結果不一致	パ	
	直接クームス* <sup>6</sup>	(+)	パ	(-)
細菌	血液 培養* <sup>7</sup>	菌の検出	パ	
	髄液 塗抹・培養	菌の検出	パ	
	抗酸菌 塗抹	抗酸菌の検出	パ	
	培養	一類, 二類, 三類, 四類, 五類* <sup>8</sup> 感染症原因菌の検出	パ	
一般	尿糖定性* <sup>6</sup>	(+)	パ	(-)
	尿中ケトン体* <sup>6</sup>	(+)	パ	(-)
	尿沈渣	ろう様円柱(+)	パ	

	検査項目名	緊急報告基準値	区分	有効治療濃度
薬物検査	フェノバルビタール	60以上( $\mu$ g/mL)	パ	トラフ 10~40
	アリミドン	15以上( $\mu$ g/mL)	パ	5~12
	フェニトイン	30以上( $\mu$ g/mL)	パ	トラフ 10~20 (成人・小児) 8~15 (新生児)
	バルプロ酸	150以上( $\mu$ g/mL)	パ	トラフ 50~100
	エトスクシミド	120以上( $\mu$ g/mL)	パ	40~100
	リチウム	2.0以上(mEq/L)	パ	0.3~1.2
	ジゴキシン	2.5以上(ng/mL)	パ	0.5~1.5
	テオフィリン	25以上( $\mu$ g/mL)	パ	10~20
	プロカインアミド	16以上( $\mu$ g/mL)	パ	4~8
	リドカイン	5.1以上( $\mu$ g/mL)	パ	有効治療濃度 1.5~5   中毒域 5以上
	サリチル酸	400以上( $\mu$ g/mL)	パ	150~300 (抗リウマチ薬として)

\*1:透析患者検体は除外

\*3:除蛋白不良が考えられる場合はコメントにて連絡

\*5:新生児は除外

\*2:初診者より検出した場合のみ

\*4:低値はNaF入りGlu用採血管使用のもののみ

\*6:新生児に限る

\*7:ボトルに陽性反応が認められた時点で培養液の塗抹検査を実施しFAXにて中間報告をします。同定菌名が確定した時点および感受性の結果が確定した時点についても、上記に加えて中間報告をします。

\*8:全数報告対象分に限る

区分の「極」は極端値, 「パ」はパニック値を表します。それぞれの定義は「極端値・パニック値対応マニュアルVer.1.4(2005.9.1)」。日本臨床検査自動化学会誌, 2005.」に準拠しています。